

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社オリエントコーポレーション（証券コード:8585）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
債券格付	A-
発行登録債予備格付	A-
国内CP格付	J-1

■格付事由

- みずほフィナンシャルグループ（みずほ FG）および伊藤忠商事の持分法適用関連会社の信販大手。格付は、オートローン、ショッピングクレジットの取扱高、銀行保証残高で業界トップクラスの規模を誇るなど強固な事業基盤を構築していることなどを反映している。今後の信用力向上には資本充実度の改善が必要である。みずほ FG とは資本、人事、営業、資金調達など各面で密接な関係を構築しており、みずほ FG において信販およびカード事業を担う当社の重要性は高い。そのため、格付には当社の事業基盤や財務基盤の単体評価をベースに、みずほ銀行を中核とするみずほ FG による信用補完を織り込んでいる。
- 個品割賦、クレジットカード、銀行保証、決済・保証などの各分野で事業基盤の拡充を進めており、取扱高を順調に伸ばしてきた。しかし、21/3 期に入りコロナ禍の影響を受けて営業収益は弱含んでいる。新基幹システムの償却費用の負担も引き続き重い。償却引当分の利益による与信費用等の吸収力、経常利益ベースの ROA でみた収益力には低下圧力がかかっている。一方で、プロセスイノベーションを通じた経費削減により、一般経費の増加が抑制されていることは収益力の下支えとなると JCR はみている。
- 資産の質はおおむね良好である。延滞債権比率や貸倒償却率は低位で安定しており、営業債権残高対比でみた与信費用は抑制されている。利息返還金についても、開示請求件数や返還金額は減少基調で推移しており、大きな懸念はない。ただし、経済低迷が長期化すれば、与信費用が上振れる可能性があり、今後の動向を注視していく。
- 22/3 期を目途にみずほ銀行が保有する I 種優先株の償還完了を目指しており、優先株の買い入れを進めている。一方で、優先株の償還やオフバランス債権などを踏まえた JCR 調整後連結自己資本比率や、リスク量対比の資本充実度には改善の余地がある。もっとも、利益蓄積により資本充実度は緩やかに向上していくと JCR は想定している。みずほ銀行を中心に強固な間接調達基盤を構築しており、流動性に特段の懸念はない。CP や社債、債権流動化など直接調達を通じて調達の多様化を進めている。

（担当） 大山 肇・浅田 健太

■格付対象

発行体：株式会社オリエントコーポレーション

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年1月22日	2022年1月21日	0.68%	A-
第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2015年7月24日	2022年7月22日	0.88%	A-
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2016年7月22日	2021年7月22日	0.29%	A-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2016年7月22日	2023年7月21日	0.46%	A-
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年12月16日	2021年12月16日	0.41%	A-
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年12月16日	2023年12月15日	0.60%	A-
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月21日	2022年7月21日	0.40%	A-
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月21日	2024年7月19日	0.57%	A-
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年7月21日	2027年7月21日	0.82%	A-
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年1月26日	2023年1月26日	0.38%	A-
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年1月26日	2025年1月24日	0.55%	A-
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年1月26日	2028年1月26日	0.76%	A-
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年7月20日	2025年7月18日	0.54%	A-
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年7月20日	2028年7月20日	0.74%	A-
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	50億円	2019年4月12日	2024年4月12日	0.50%	A-
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2019年4月12日	2026年4月10日	0.69%	A-
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月22日	2029年7月20日	0.78%	A-
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）	50億円	2020年7月28日	2025年7月28日	0.32%	A-
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（ソーシャルボンド）	50億円	2020年7月17日	2025年7月17日	0.32%	A-
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年7月17日	2023年2月17日	0.11%	A-
第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年1月22日	2026年1月22日	0.33%	A-
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年1月22日	2031年1月22日	0.76%	A-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,000億円	2020年2月21日から2年間	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	4,000億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年3月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「信販・クレジットカード」(2013年7月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社オリエントコーポレーション
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル